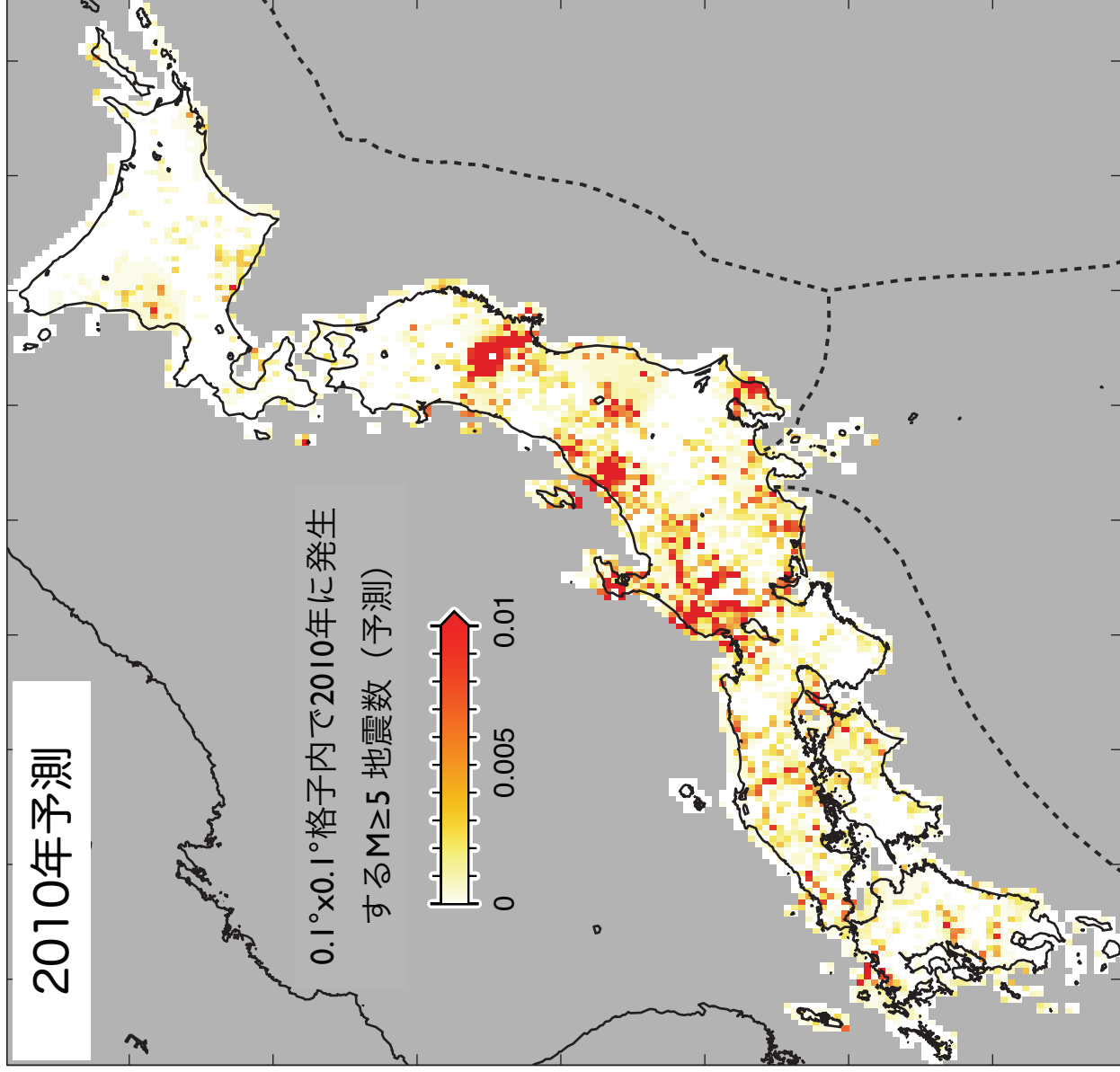
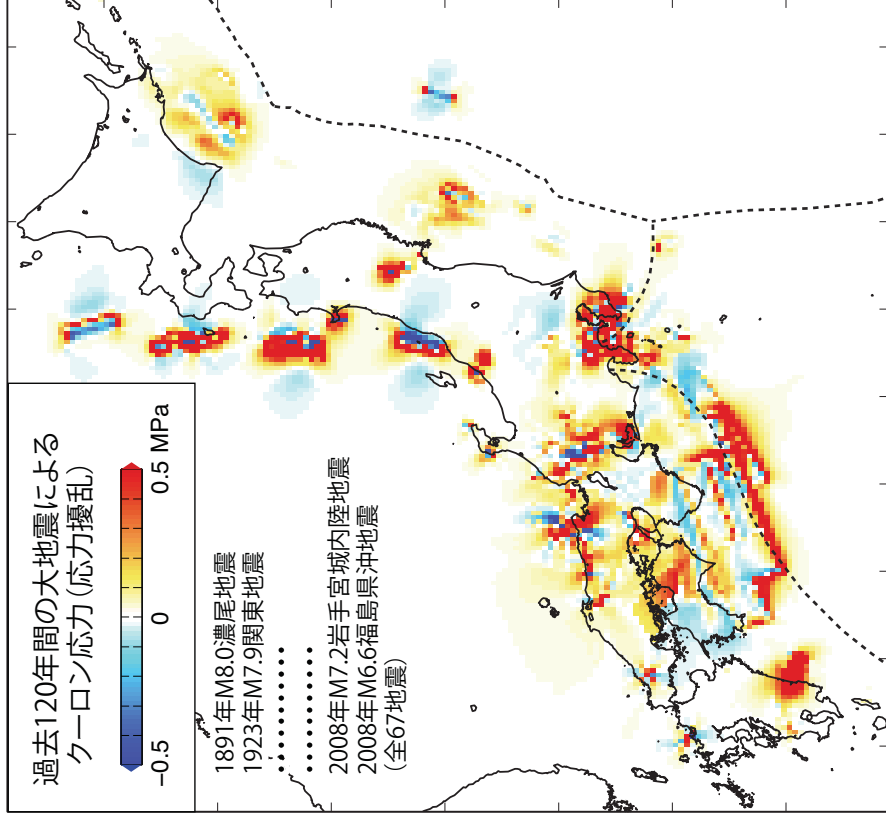


# 応力伝播を考慮した地震予測モデル（CSEP日本版）

応力蓄積速度が遅い列島内陸域：現在の地震活動は過去の大地震による影響を引きずっている



- 応力伝播（大地震の周辺で確率大）
- 時間依存（最近の大地震ほど影響大）  
岩手宮城，中越，能登の周辺で高確率
- 応力減少→地震活動低下

北関東や山形宮城県南部は応力低下の影響も。  
地震活動「空白域」の一因。